

交付運用報告書

スーパーファンド・ジャパン サブファンド・グリーン、サブファンド・グリーンC

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て、米ドル建て）
作成対象期間（第15期）：自 2023年1月1日 至 2023年12月31日

～ 受益者の皆様へ ～

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当サブファンドは、オーストリア・ウィーンにて創立されたスーパーファンドグループの、外国籍公募投資信託です。

ケイマン諸島における分別ポートフォリオを運用する適用免除有限責任会社として登録され、投資会社としてのみ活動するマスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドへの投資を通じて、証券市場の動静から独立した投資形態を投資家の皆様に提供するために設立されました。スーパーファンドの投資顧問会社であるスーパーファンド・キャピタル・マネジメント・インクによる、トレーディング・ソフトウェアを使用した最新の取引システムに基づき、マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドは運用されます。

ここに、当サブファンドの第15期の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

| | 第 15 期末 | | | | | | | |
|------------|-------------|---------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|--------------|---------|
| | サブファンド・グリーン | | | | | | サブファンド・グリーンC | |
| | 円・クラス | 米ドル・クラス | ゴールド 円・クラス | ゴールド 米ドル・クラス | シルバー 円・クラス | シルバー 米ドル・クラス | 円・クラス | 米ドル・クラス |
| 1口あたり純資産価額 | 49.55円 | 0.55米ドル | 110.95円 | 0.80米ドル | 76.99円 | 0.81米ドル | 40.98円 | 0.40米ドル |
| 純資産総額 | 353百万円 | 83万米ドル | 1,112百万円 | 49万米ドル | 127百万円 | 189万米ドル | 79百万円 | 57万米ドル |
| 第 15 期 | | | | | | | | |
| 騰落率 | △28.68% | △26.67% | △14.86% | △20.79% | △22.66% | △27.68% | △37.24% | △33.33% |
| 1口当たり分配金額 | 0円 | 0米ドル | 0円 | 0米ドル | 0円 | 0米ドル | 0円 | 0米ドル |

(注1) 純資産総額は、1口あたり純資産価額に、当期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書（全体版）に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注2) 騰落率は、税引前の分配金（もしあれば）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注3) 1口当たり分配金額（もしあれば）は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

その他記載事項

運用報告書（全体版）は代行協会のウェブサイト（<https://www.superfund.co.jp>）にて電磁的方法により提供しており、「ドキュメント」において閲覧及びダウンロードすることができます。

※ 当サブファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【管理会社】

スーパーファンド・ジャパン・
トレーディング（ケイマン）リミテッド

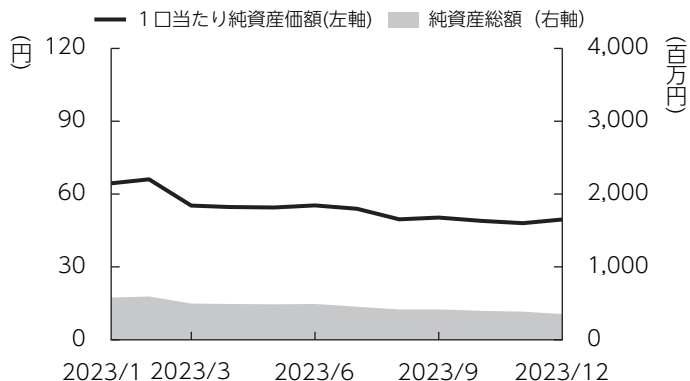
【代行協会員】

スーパーファンド・ジャパン株式会社

運用経過

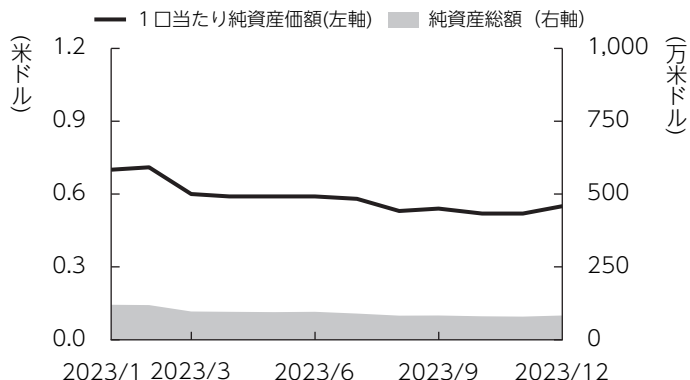
■ 当期の1口当たり純資産価額等の推移について (2023年1月1日～2023年12月31日)

サブファンド・グリーン 円・クラス



| | |
|-----------------------------|---------|
| 第14期末の1口当たり純資産価額 | 69.48円 |
| 第15期末の1口当たり純資産価額 (分配金0円) | 49.55円 |
| 騰落率 | △28.68% |

サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



| | |
|-------------------------------|---------|
| 第14期末の1口当たり純資産価額 | 0.75米ドル |
| 第15期末の1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル) | 0.55米ドル |
| 騰落率 | △26.67% |

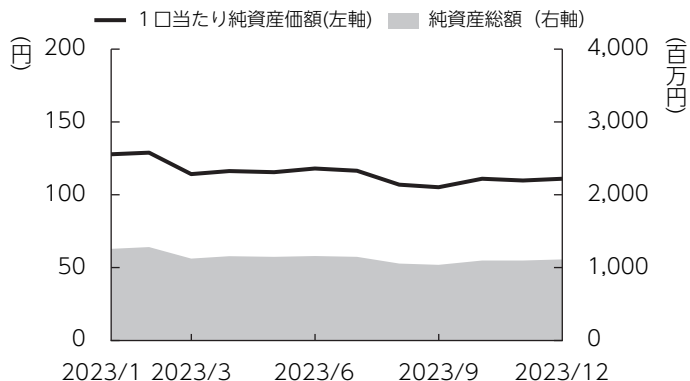
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 騰落率は、第14期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

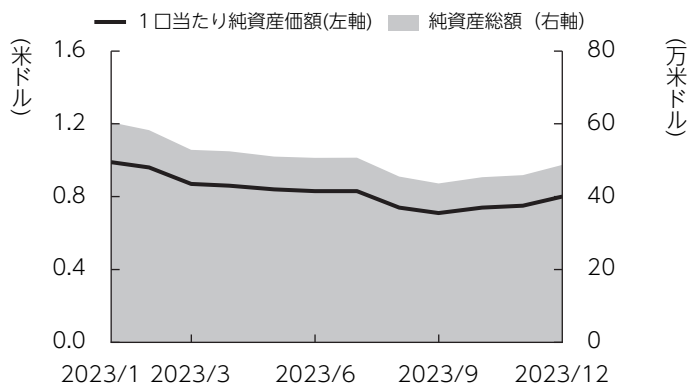
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



| | |
|-------------------------------------|---------|
| 第 14 期 末 の 1口当たり純資産価額 | 130.32円 |
| 第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円) | 110.95円 |
| 騰 落 率 | △14.86% |

サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



| | |
|---------------------------------------|---------|
| 第 14 期 末 の 1口当たり純資産価額 | 1.01米ドル |
| 第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル) | 0.80米ドル |
| 騰 落 率 | △20.79% |

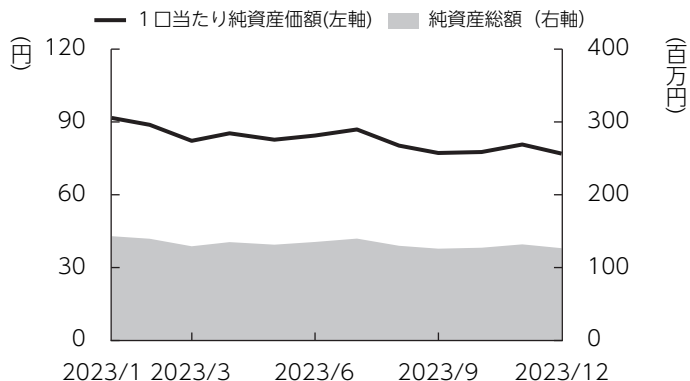
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 騰落率は、第14期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

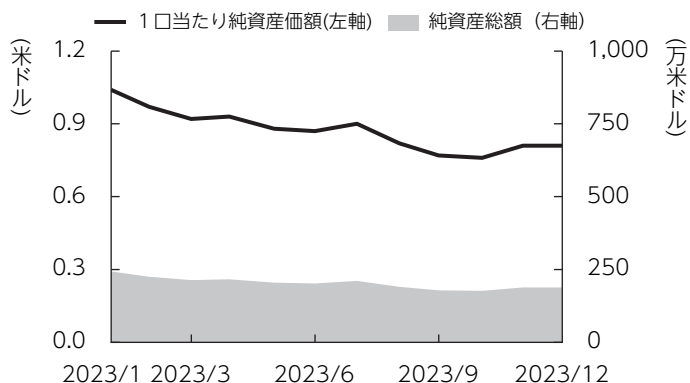
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

サブファンド・グリーン シルバー円・クラス



| | |
|--|---------|
| 第 14 期 末 の 1 口 当 た り 純 資 産 価 額 | 99.55円 |
| 第 15 期 末 の 1 口 当 た り 純 資 産 価 額 (分配金 0 円) | 76.99円 |
| 騰 落 率 | △22.66% |

サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス



| | |
|--|---------|
| 第 14 期 末 の 1 口 当 た り 純 資 産 価 額 | 1.12米ドル |
| 第 15 期 末 の 1 口 当 た り 純 資 産 価 額 (分配金 0 米ドル) | 0.81米ドル |
| 騰 落 率 | △27.68% |

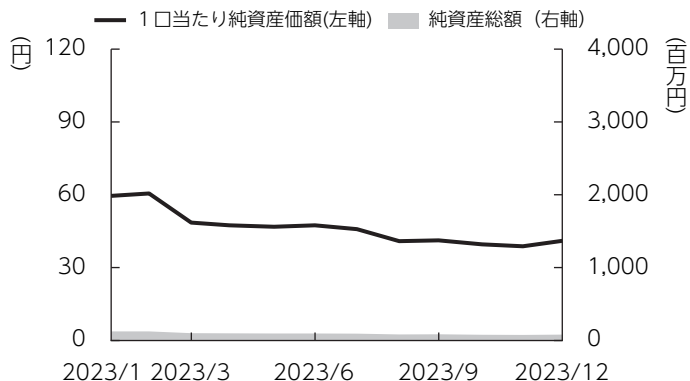
(注 1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注 2) 騰落率は、第14期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注 3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

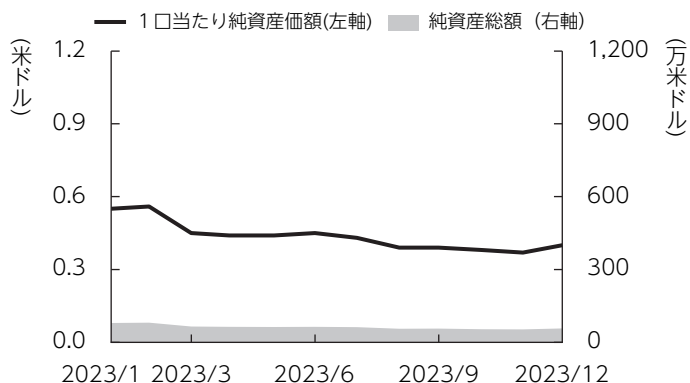
(注 4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

サブファンド・グリーンC 円・クラス



| | |
|-------------------------------------|---------|
| 第 14 期 末 の 1口当たり純資産価額 | 65.30円 |
| 第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円) | 40.98円 |
| 騰 落 率 | △37.24% |

サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



| | |
|---------------------------------------|---------|
| 第 14 期 末 の 1口当たり純資産価額 | 0.60米ドル |
| 第 15 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル) | 0.40米ドル |
| 騰 落 率 | △33.33% |

(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 騰落率は、第14期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

■ 1口当たり純資産価額の主な変動要因

【円・クラス、米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

【ゴールド円・クラス、ゴールド米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。加えて、金価格の上昇によりキャピタルゲインが生まれ、下落によりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

【シルバー円・クラス、シルバー米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における市場の変動率の上昇により、当サブファンドが採用するトレンドフォロー戦略による取引システムが、様々な指数の上昇・下降トレンドに追随することでキャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追随した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。加えて、銀価格の上昇によりキャピタルゲインが生まれ、下落によりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

■ 費用の明細 (2023年1月1日～2023年12月31日)

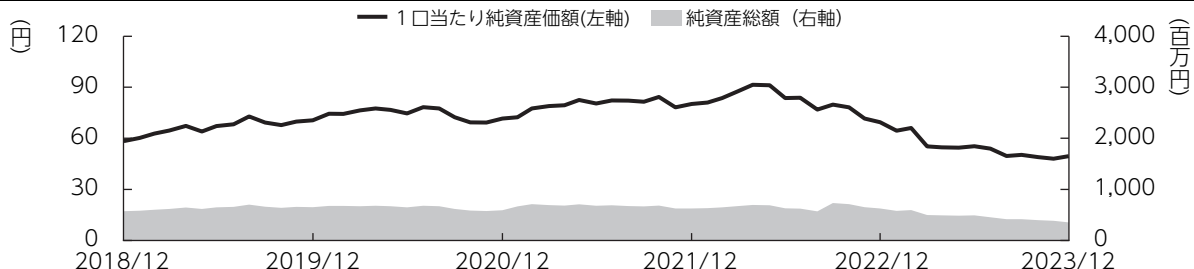
| 項目 | | 比率又は金額 | 項目の概要 |
|------------|--------------------------|---|--|
| 管理報酬 | | 各サブファンドの純資産価額の年率0.10% | 受託会社、事務管理会社及びカストディアンその他の者との間のやりとり、当サブファンドの活動に関連する契約の管理、申込及び償還を含む投資活動の運用管理の対価 |
| 代行協会員報酬 | | 各サブファンドの純資産価額の年率0.10% | 日本の法令及び日本証券業協会の規則に従い、受益者への目論見書や財務書類を送付し、純資産価額を公表する等の業務に対する報酬 |
| 受託会社報酬 | | 各サブファンドにつき年間11,000米ドル | 信託証書に従って行う当サブファンドの受託業務に対する報酬 |
| 事務管理報酬 | 当ファンドの事務管理及び振替代行報酬 | サブファンド「グリーン」：年間5,400米ドル サブファンド「グリーンC」：年間5,400米ドル | 各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込に係る契約及び申込の受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価 |
| | 年次財務諸表の作成 | 当ファンドにつき年間1,500米ドル | 関連する規制に則した年次財務諸表（監査済み）の作成及びその補助の対価 |
| | ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード | 当ファンドにつき年間500米ドル | 当ファンドのFATCAルール遵守のための作業の対価 |
| | ポータルサイトへのCRSデータのアップロード | 当ファンドにつき年間500米ドル | 当ファンドのCRSルール遵守のための作業の対価 |
| その他の費用（当期） | | 1.00% | 監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 |

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を当サブファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) 各項目の費用は、サブファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

■ 最近5年間の1口当たり純資産価額等の推移について (2018年12月31日～2023年12月31日)

サブファンド・グリーン 円・クラス



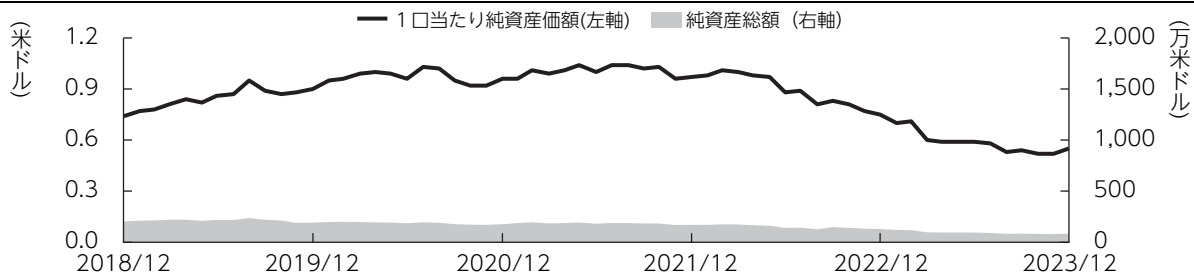
| | 第10期末 2018年 12月31日 | 第11期末 2019年 12月31日 | 第12期末 2020年 12月31日 | 第13期末 2021年 12月31日 | 第14期末 2022年 12月31日 | 第15期末 2023年 12月31日 |
|---------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1口当たり純資産価額(円) | 58.31 | 70.59 | 71.56 | 80.12 | 69.48 | 49.55 |
| 1口当たり分配金額(円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 騰落率(%) | — | +21.06 | +1.37 | +11.96 | △13.28 | △28.68 |
| 純資産総額(百万円) | 571 | 650 | 591 | 627 | 626 | 353 |

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



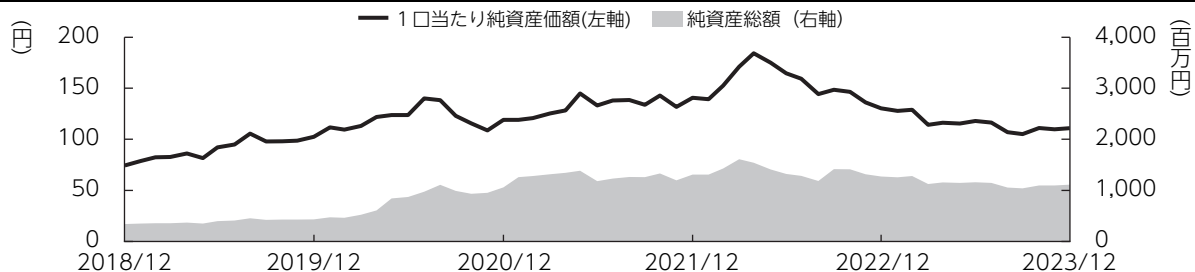
| | 第10期末 2018年 12月31日 | 第11期末 2019年 12月31日 | 第12期末 2020年 12月31日 | 第13期末 2021年 12月31日 | 第14期末 2022年 12月31日 | 第15期末 2023年 12月31日 |
|-----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1口当たり純資産価額(米ドル) | 0.74 | 0.90 | 0.96 | 0.97 | 0.75 | 0.55 |
| 1口当たり分配金額(米ドル) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 騰落率(%) | — | +21.62 | +6.67 | +1.04 | △22.68 | △26.67 |
| 純資産総額(万米ドル) | 203 | 192 | 176 | 170 | 129 | 83 |

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



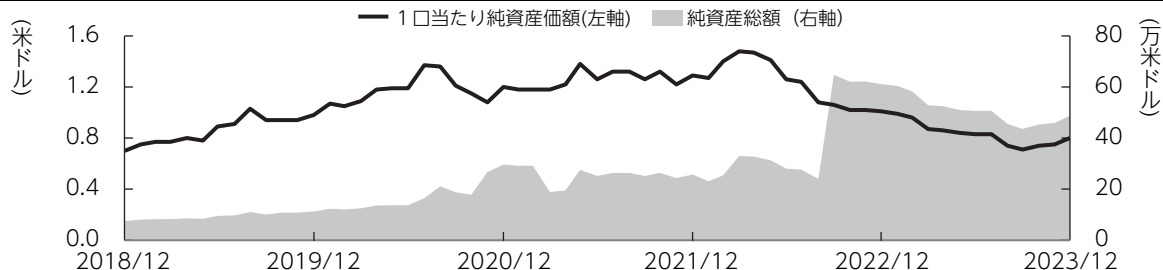
| | 第10期末 2018年 12月31日 | 第11期末 2019年 12月31日 | 第12期末 2020年 12月31日 | 第13期末 2021年 12月31日 | 第14期末 2022年 12月31日 | 第15期末 2023年 12月31日 |
|---------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1口当たり純資産価額(円) | 74.42 | 102.38 | 118.95 | 140.71 | 130.32 | 110.95 |
| 1口当たり分配金額(円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 騰落率(%) | — | +37.57 | +16.18 | +18.29 | △7.38 | △14.86 |
| 純資産総額(百万円) | 339 | 432 | 1,058 | 1,308 | 1,271 | 1,112 |

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



| | 第10期末 2018年 12月31日 | 第11期末 2019年 12月31日 | 第12期末 2020年 12月31日 | 第13期末 2021年 12月31日 | 第14期末 2022年 12月31日 | 第15期末 2023年 12月31日 |
|-----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1口当たり純資産価額(米ドル) | 0.70 | 0.98 | 1.20 | 1.29 | 1.01 | 0.80 |
| 1口当たり分配金額(米ドル) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 騰落率(%) | — | +40.00 | +22.45 | +7.50 | △21.71 | △20.79 |
| 純資産総額(万米ドル) | 7 | 11 | 30 | 24 | 61 | 49 |

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーン シルバー円・クラス (ファンドの運用は2022年9月から開始)



| | シルバー円クラス設定時 2022年 9月1日 | 第14期末 2022年 12月31日 | 第15期末 2023年 12月31日 |
|---------------|------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1口当たり純資産価額(円) | 100 | 99.55 | 76.99 |
| 1口当たり分配金額(円) | — | 0 | 0 |
| 騰落率(%) | — | △0.45 | △22.66 |
| 純資産総額(百万円) | 127 | 155 | 127 |

- (注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
- (注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。
- (注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。
- (注4) 当クラスは2022年9月より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報がありません。そのため、第14期末時点の騰落率につきましては、クラス設定時との比較において計算しています。

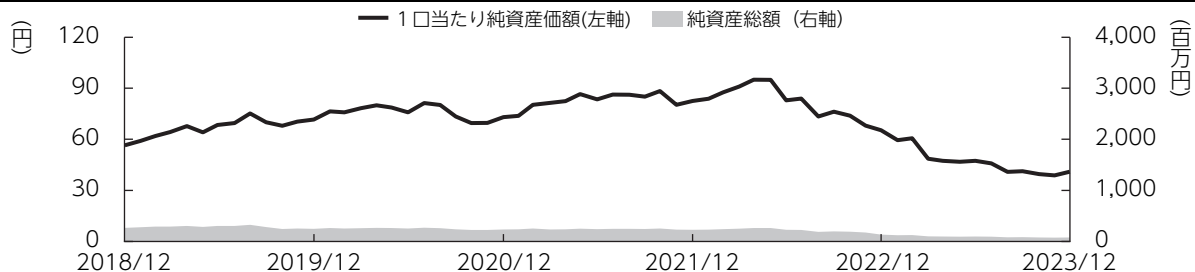
サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス (ファンドの運用は2022年9月から開始)



| | シルバー米ドルクラス設定時 2022年 9月1日 | 第14期末 2022年 12月31日 | 第15期末 2023年 12月31日 |
|-----------------|--------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1口当たり純資産価額(米ドル) | 1.00 | 1.12 | 0.81 |
| 1口当たり分配金額(米ドル) | — | 0 | 0 |
| 騰落率(%) | — | +12.00 | △27.68 |
| 純資産総額(万米ドル) | 233 | 262 | 189 |

- (注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。
- (注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。
- (注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。
- (注4) 当クラスは2022年9月より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報がありません。そのため、第14期末時点の騰落率につきましては、クラス設定時との比較において計算しています。

サブファンド・グリーンC 円・クラス



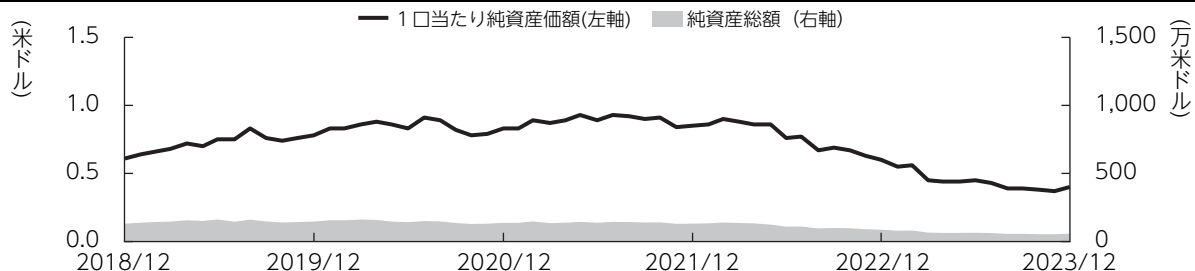
| | 第10期末 2018年 12月31日 | 第11期末 2019年 12月31日 | 第12期末 2020年 12月31日 | 第13期末 2021年 12月31日 | 第14期末 2022年 12月31日 | 第15期末 2023年 12月31日 |
|---------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1口当たり純資産価額(円) | 56.44 | 71.63 | 72.97 | 82.54 | 65.30 | 40.98 |
| 1口当たり分配金額(円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 騰落率(%) | — | +26.91 | +1.87 | +13.11 | △20.89 | △37.24 |
| 純資産総額(百万円) | 265 | 245 | 235 | 228 | 135 | 79 |

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



| | 第10期末 2018年 12月31日 | 第11期末 2019年 12月31日 | 第12期末 2020年 12月31日 | 第13期末 2021年 12月31日 | 第14期末 2022年 12月31日 | 第15期末 2023年 12月31日 |
|-----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1口当たり純資産価額(米ドル) | 0.61 | 0.78 | 0.83 | 0.85 | 0.60 | 0.40 |
| 1口当たり分配金額(米ドル) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 騰落率(%) | — | +27.87 | +6.41 | +2.41 | △29.41 | △33.33 |
| 純資産総額(万米ドル) | 132 | 147 | 137 | 132 | 87 | 57 |

(注1) 騰落率は、前期末の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

■ 投資環境について

2023年の金融市場は、AIに触発されたハイテク株の急騰、コモディティ市場の変動、暗号資産の反発、リーマン・ショック以来の銀行破綻など、重要な出来事を経験しました。にもかかわらず、世界経済は予想を上回り、GDP成長率はコンセンサス予想を上回りました。コア・インフレ率は2022年の6%から3%に低下し、特にCOVID後の物価高騰から回復しつつある経済圏で顕著でした。米国経済は予想を上回り、予想成長率は2.4%と、景気後退懸念が蔓延していた2022年12月の市場コンセンサスを大きく上回りました。第3四半期には、主要中央銀行の利上げサイクルが終了し、2024年の利下げを見越した利上げに焦点が移りました。S&P500種指数は25%近く上昇し、世界のほとんどの指数がプラスを示しました。一方で、中国は景気減速と不動産市場の崩壊により、CSI300指数が前年同期比で11%近く下落しました。

2023年の世界の株式市場は、米国のインフレ率の低下と労働市場の予想以上の上昇に後押しされ、上昇基調でスタートしました。年初の楽観的な見方は第2四半期も続きましたが、米国と欧州で予想外に力強い成長データが発表されたため、困難に直面しました。この後、シリコンバレー銀行とクレディ・スイス・グループの破綻を受けて、前半に市場は一時パニックに陥りましたが、規制当局と金融機関の協調努力により米国株式市場は反発しました。ハイテク株比率の高いナスダック100指数は、2022年8月以来の水準に達し、年間47%という驚異的な上昇率で年末を迎えました。欧州市場も厳しい2022年から力強い回復を見せました。ドイツのDAXは、欧州最大の経済大国の不振を覆して20%急騰し、イタリアのFTSE MIBも印象的な上昇を見せ、30%近い上昇を記録しました。年央の株式市場は、前月までのトレンドから逸脱しました。その最たるものは、フィッチ・レーティングスが米国のソブリン格付けをAAAからAA+に引き下げたことで、これが世界的な波紋を広げ、世界経済に対する懸念が再燃しました。これに米連邦準備制度理事会（FRB）の根強い利上げ観測が加わり、TOPIXを除く世界の主要株価指数は大幅に反落しました。年後半にかけては、金利上昇や中東の紛争を背景に世界株式は下落を続けました。投資家は、明るい経済データに裏打ちされた金利上昇が景気減速を誘発する可能性を予想し、引き続き神経質になっていました。こうした懸念は、地政学的な出来事によって悪化し、リスク選好意欲を減退させました。しかし、ハイテク大手の好業績と予想を下回るインフレ率に後押しされ、株式は大幅に上昇しました。

2023年、世界の債券市場は、主要中央銀行がインフレ対策として利上げを継続するとの懸念から債券価格が低迷を続け、厳しい局面を乗り切りました。長期の債券が売られ、イールド・カーブの弱気なスティープ化につながりました。この状況は10月に最高潮に達し、米国債価格は2007年以来の低水準となり、利回りは16年ぶりの高水準となりました。英国債も2008年8月以来の安値を記録しました。米国債や欧州国債が売られた一方で、日本国債は日銀の超金融緩和政策の下で底堅く推移しました。このような厳しい環境は、予想される利下げ、景気の底堅さ、世界経済のダイナミクスの間の微妙なバランスを反映しています。年末には、インフレ緩和とそれに続く金利引き下げに対する楽観的な見方が強まり、目覚ましい好転が見られました。投資家はこれに呼応して国債に殺到し、価格が

急騰して空前の暴騰を引き起こしました。ブルームバーグ・グローバル・アグリゲート・トータル・リターン・インデックスは11月と12月に10%近く急騰し、1990年以来2ヵ月間で最も目覚ましい上昇を記録しました。

コモディティ市場では、3年近くにわたるゼロコロナ政策から中国経済が再開したことが、特に工業用金属とエネルギー市場を大いに押し上げる要因となりました。しかし、年が明けると、投資家は高騰するインフレと銀行不安の中、安全への逃避のため、よりリスクの低い資産を求めようになり、究極の安全資産である金価格は2023年の大半にわたって底堅さを維持し、5月には2,050米ドルを超える2年ぶりの高値をつけました。11月末までに、貴金属価格は年初来で10%以上上昇しました。市場参加者は、現在の引き締めサイクルが終わりに近づいているのではないかと予想しています。2023年に向けて好調なスタートを切った中国の経済活動は、輸出と不動産業界の破綻に象徴されるように、予想を大幅に下回っています。

その結果、原油価格は一進一退を繰り返しながら予断を許さず、結局、1月に1バレル86米ドルで始まった原油価格は、77.50米ドルで1年を終えました。農産物では、干ばつ懸念とロシアによる黒海穀物合意離脱が当初、小麦とトウモロコシの価格上昇に寄与しましたが、ウクライナが黒海に人道的回廊を設置し、供給制約が緩和されたため、年央に価格が下落しました。2023年の小麦価格は20%以上下落し、トウモロコシは30%以上、大豆は14%近く下落しました。年末までのコモディティは、原油の減産、安全資産である貴金属、そしてイスラエルとハマスの間で激化している紛争によって、値動きが大きい展開となりました。サウジアラビアとロシアによる減産延長を受け、原油価格は8%上昇し、欧州の天然ガス価格は35%急騰しました。

通貨面では、金利上昇と世界的な銀行危機が、年間を通じて通貨変動の原動力となりました。トレーダーがシリコンバレーの銀行危機に対する連邦準備制度理事会（FRB）の対応を懸念したため、米ドルは主要なライバル通貨に対して困難に直面しました。欧州ではクレディ・スイスの破綻がスイスフランに影響を与え、その波及が懸念されましたが、イギリスポンドは堅調を維持し、2022年6月以来の高値をつけました。全体として、ポンドは対米ドルで2017年以来最高の年となりました。年初1.21米ドルで始まった英ポンドは、投資家が英国の金利が6.5%まで上昇する可能性に賭けたため、7月には1.31米ドルを超える15ヵ月ぶりの高値をつけました。年央には、米連邦準備制度理事会（FRB）がタカ派的なコメントを発表する中、米ドルが上昇し、米金利が長期的に高止まりするとの思惑を煽る一方、英国の経済見通しが改善したことからポンド高が続きました。ユーロは、ドイツのGDPが期待外れの数字であったことから下げ圧力に直面しました。第3四半期の為替相場は、日本の金利が低水準で推移したため、円がドルや他の主要通貨に対して弱含みました。今年前半のドル相場は、米国経済が好転したにもかかわらず振るいませんでしたが、7月半ばから反転し、FRBが金融引き締めを継続していることが追い風となり、8月末までにほぼ全ての損失を取り戻しました。

■ ポートフォリオについて

<当サブファンド>

当サブファンドは、マスターファンドへの投資によって当該マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。結果、マスターファンドへの投資比率は、概ね95%以上を維持しました。

<マスターファンド>

マスターファンドは、アンダーライング・マスターファンドへの投資によって当該アンダーライング・マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。

<アンダーライング・マスターファンド>

アンダーライング・マスターファンドは、主に世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等に投資しました。トレンドフォロー戦略を中心としたマネージドフューチャーズ（グリーン戦略）により、下記7つのセクターに分散投資しました。

【株式指数】 【債券】 【通貨】 【金属】 【穀物】 【農作物】 【エネルギー】

当ファンドが採用するマネージドフューチャーズ戦略は、中長期トレンドに追随するトレンドフォロー戦略を中核として、約150の様々な指数を投資対象としております。2023年は前年より続く米国の金利引き下げの影響により、パフォーマンスの不調が継続しましたが、2023年後半、米国利下げの終焉とともに、回復基調に転じております。利下げ局面において、日本では金利差から円安基調が継続しました。特に2022年3月に2,070米ドルの高値を付けた金価格は、2023年5月に2,079米ドルの高値、2023年12月の2,135米ドルの高値と、米ドルベースでは底堅い動きではありますが上に抜けない値動きとなりました。一方で、円ベースでは、2022年は年初7,492円で始まり4月の高値8,969円だった金価格が、為替の影響もあり、2023年年末には10,928円の高値を付ける値動きとなりました。

■ ベンチマークとの差異について

当サブファンドにはベンチマーク及び参考指数はありません。

■ 分配金について

当サブファンドには分配金はありません。

今後の運用方針

今後の運用方針については、これまでの投資方針が引き続き採用され、マスターファンドへの投資を通じてアンダーライニング・マスターファンドと同一の投資目的を追求する予定です。

お知らせ

特にありません。

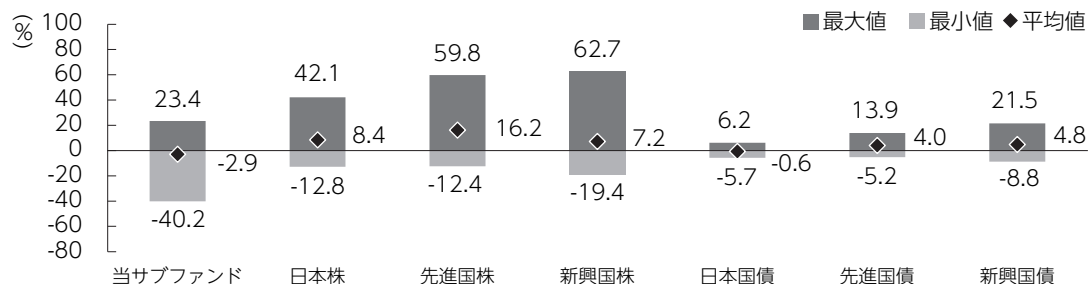
当サブファンドの概要

| | | |
|--------|--|--|
| ファンド形態 | ケイマン籍 オープンエンド契約型外国投資信託（円建て、米ドル建て） | |
| 信託期間 | 信託設定日は2009年6月5日、償還日は設定日から150年後 | |
| 運用方針 | マスターファンド投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルに基づいて投資活動を行います。 マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものではなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。マスターファンド投資顧問会社は、アンダーライニング・マスターファンドが上場先物及び店頭デリバティブ（外国為替取引を含みます。）の取引においてレバレッジを用いることにより高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することができます。 | |
| 主要投資対象 | 当サブファンド | スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC及びスーパーファンド・グリーンSPC |
| | マスターファンド | スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC、スーパーファンド・グリーン・マスター、現金及び銀先物 |
| | アンダーライニング・マスターファンド | 世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引（株式指数、債券、通貨、金利、金属、穀物、農作物、エネルギー）への分散投資、及び金先物 |
| 組入制限 | 当ファンドのサブファンド「グリーン」及び「グリーンC」の資産は管理会社により運用され、管理会社はサブファンド「グリーン」の円・クラス、米ドル・クラス、シルバー円・クラス、シルバー米ドル・クラス資産のすべてをスーパーファンド・グリーンSPCのシェア（株式）に、ゴールド円・クラス及びゴールド米ドル・クラス資産のすべてをスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCのシェア（株式）に、サブファンド「グリーンC」の円・クラス及び米ドル・クラス資産のすべてをスーパーファンド・グリーンSPCのシェア（株式）に投資します。 | |
| 分配方針 | 現段階では分配を行う予定はありません。但し、管理会社はその裁量で分配を決定する権利を留保しています。 | |

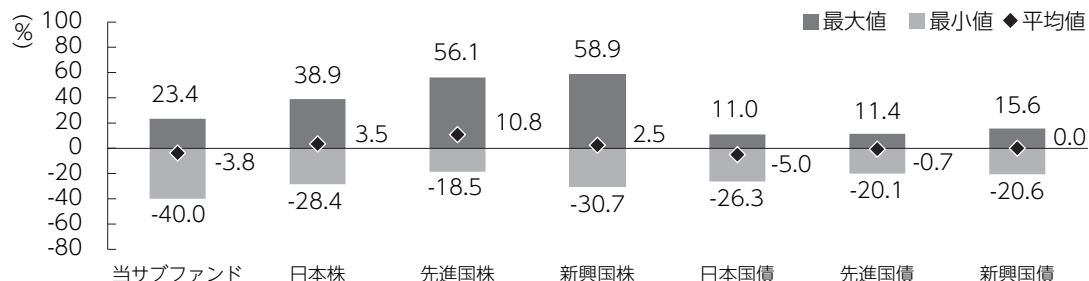
(参考情報)

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

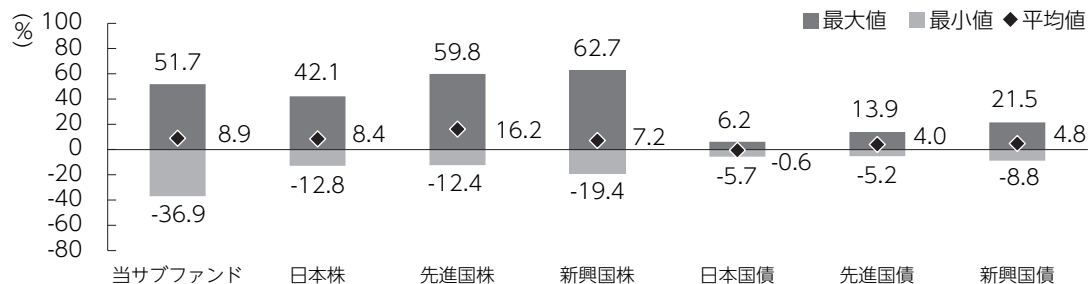
サブファンド・グリーン 円・クラス



サブファンド・グリーン 米ドル・クラス



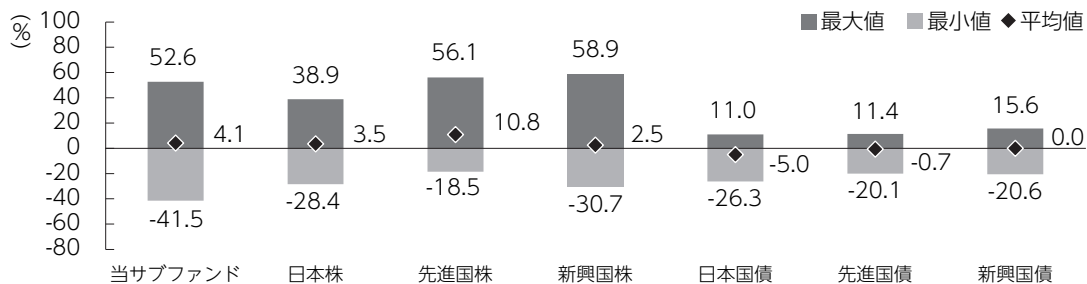
サブファンド・グリーン ゴールド円・クラス



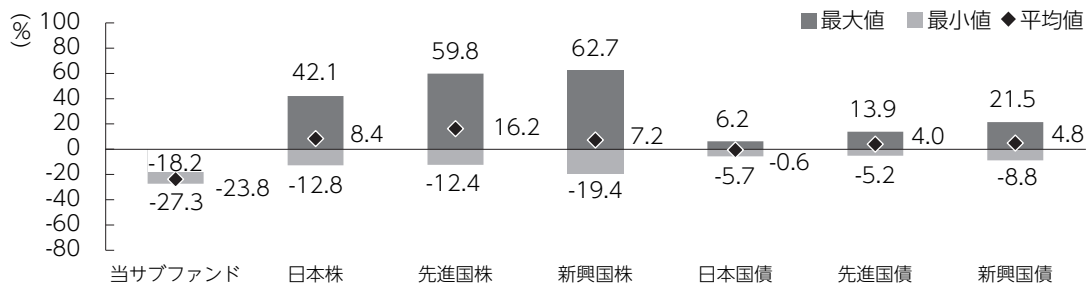
(注1) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

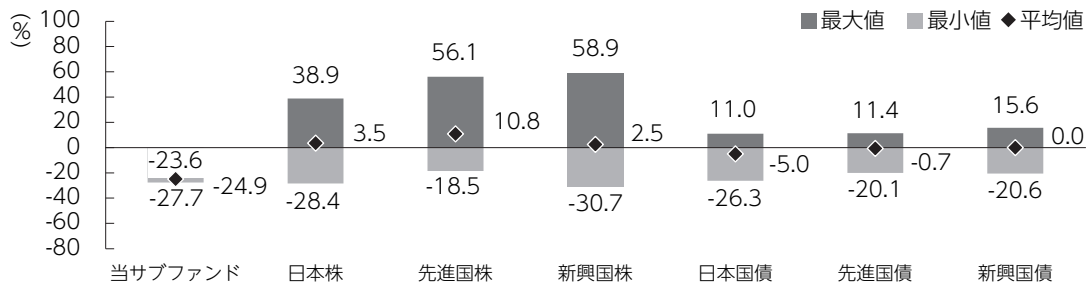
サブファンド・グリーン ゴールド米ドル・クラス



サブファンド・グリーン シルバー円・クラス



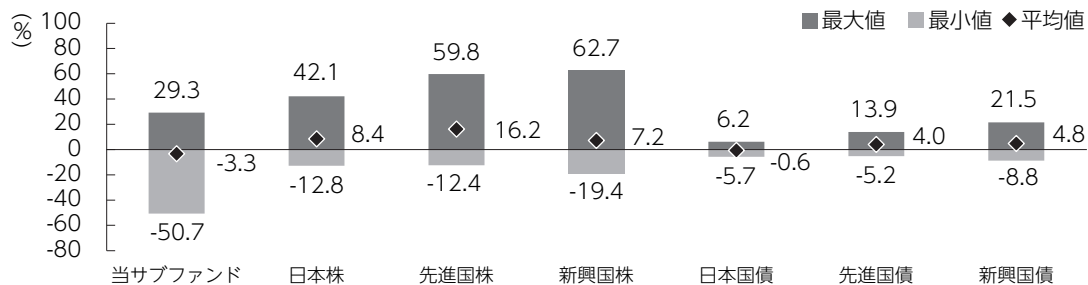
サブファンド・グリーン シルバー米ドル・クラス



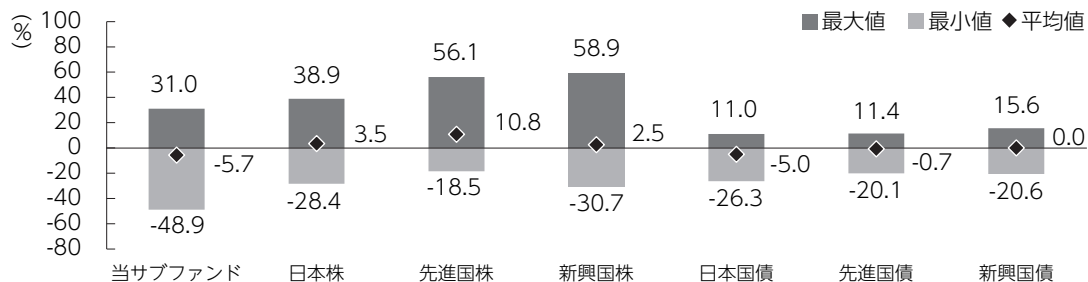
(注1) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

サブファンド・グリーンC 円・クラス



サブファンド・グリーンC 米ドル・クラス



(注1) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

円・クラス／ゴールド円・クラス／シルバー円・クラス

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株……MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

米ドル・クラス／ゴールド米ドル・クラス／シルバー米ドル・クラス

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株……MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

ファンドデータ

■ 当サブファンドの組入資産の内容 (2023年12月31日現在)

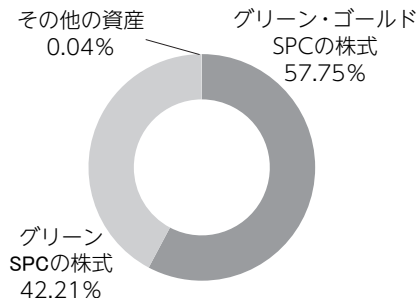
■ サブファンド・グリーン

【組入ファンド】 (組入銘柄数：2銘柄)

| 資産の種類 | 組入比率 |
|--|--------|
| スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの株式 (クラスBジャパン (円) 及びクラスBジャパン (米ドル) 株式) (以下、本ページにおいて「グリーン・ゴールドSPCの株式」と表記) | 57.75% |
| スーパーファンド・グリーンSPCの株式 (クラスジャパン (円) 株式、クラスジャパン (米ドル) 株式、クラスシルバー (米ドル) 株式及びクラスシルバー (円) 株式) (以下、本ページにおいて「グリーンSPCの株式」と表記) | 42.21% |
| 現金、受取債券及びその他資産 | 0.04% |

(注) 組入比率は、各クラスが各々対応するマスターファンドに高位に投資しておりますが、クラス毎の計算書類は存在しないため、サブファンドの財務書類の記載に基づき記載しています。以下グラフも同様です。

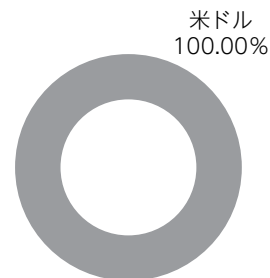
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

■ 純資産等 (2023年12月31日現在)

| 項目 | 第15期末 |
|------------|----------------|
| 純資産総額 | 2,041,868,324円 |
| 発行済口数 | 23,259,320口 |
| 1口当たり純資産価額 | 87.79円 |

(注1) 純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

(注2) 為替レート 1米ドル=156.74円 (2024年5月31日現在)

(注3) 当期中における追加設定元本額84,357,669円、一部解約元本額は159,562,944円です。

サブファンド・グリーンC

【組入ファンド】（組入銘柄数：1 銘柄）

| 資産の種類 | 組入比率 |
|---|--------|
| スーパーファンド・グリーンSPCの株式（クラスCジャパン（円）株式及びクラスCジャパン（米ドル）株式） （以下、本ページにおいて「グリーンSPCの株式」と表記） | 94.30% |
| 現金、受取債券及びその他資産 | 5.70% |

（注）組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。



（注）通貨別配分につき、通貨ヘッジはしていません。

■ 純資産等（2023年12月31日現在）

| 項目 | 第 15 期 末 |
|--------------------|--------------|
| 純 資 産 総 額 | 159,436,385円 |
| 発 行 済 口 数 | 3,363,820口 |
| 1 口 当 たり 純 資 産 価 額 | 47.40円 |

（注1）純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

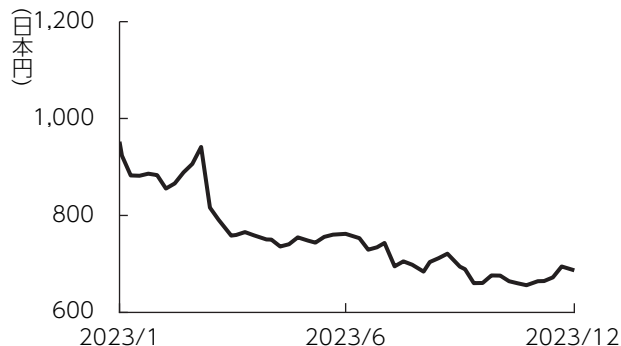
（注2）為替レート 1米ドル=156.74円（2024年5月31日現在）

（注3）当期中における一部解約元本額は5,809,549円です。

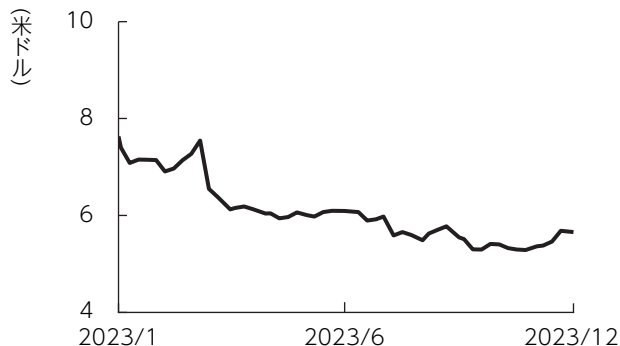
■ 投資先ファンドの概要 (2023年1月1日～2023年12月31日)

■ スーパーファンド・グリーンSPC (マスターファンド) 分別ポートフォリオB

【クラスジャパン (円) の1口当たり純資産価額の推移】



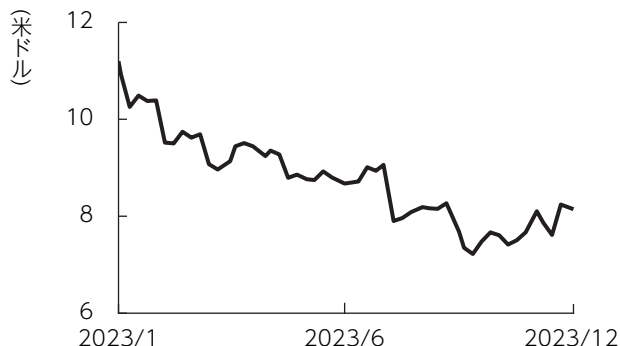
【クラスジャパン (米ドル) の1口当たり純資産価額の推移】



【クラスシルバー (円) の1口当たり純資産価額の推移】



【クラスシルバー (米ドル) の1口当たり純資産価額の推移】



【保有銘柄情報】 (組入銘柄数：1銘柄)

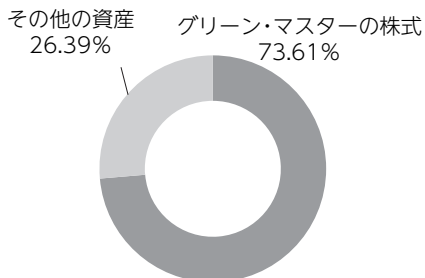
| 資産の種類 | 組入比率 |
|---|--------|
| スーパーファンド・グリーン・マスターの株式 (以下「グリーン・マスターの株式」と表記) | 73.11% |
| 現金、受取債権及びその他の資産 | 26.39% |

【費用の明細】 (2023年1月1日～2023年12月31日)

| 項目 | 項目の概要 | |
|------------|---|-------------------------------|
| 管理報酬 | 分別ポートフォリオB・クラスジャパン (円)、クラスジャパン (米ドル)、クラスシルバー (円) 及びクラスシルバー (米ドル) 株式の純資産価額の年率2.00% | |
| 成功報酬 | 分別ポートフォリオB・クラスジャパン (円)、クラスジャパン (米ドル)、クラスシルバー (円) 及びクラスシルバー (米ドル) 株式の純資産価額の増加額のうち毎月20% (銀価格の上昇のみに起因する価額増加を排除したハイウォーターマーク方式を適用) | |
| 販売会社報酬 | 販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8% | |
| 事務管理報酬 | 事務管理報酬 | 分別ポートフォリオBにつき年間5,400米ドル |
| | 年次財務諸表の作成 | スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間1,500米ドル |
| | ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード | スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間500米ドル |
| | ポータルサイトへのCRSデータのアップロード | スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間500米ドル |
| その他の費用(当期) | 監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.48% | |

(注) 各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

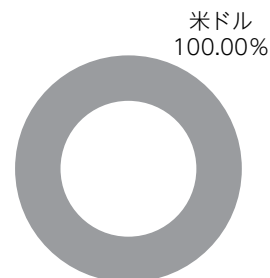
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

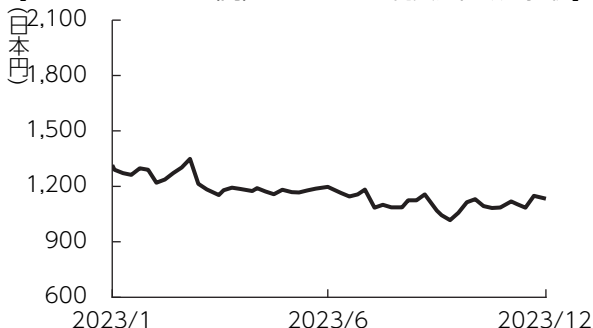


(2023年12月31日現在)

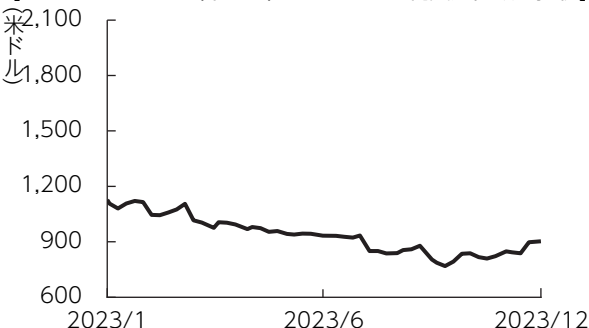
(注) 通貨別配分につき、通貨ヘッジはしていません。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC (マスターファンド) 分別ポートフォリオB

【クラスBジャパン(円)の1口当たり純資産価額の推移】



【クラスBジャパン(米ドル)の1口当たり純資産価額の推移】



【保有銘柄情報】 (組入銘柄数: 1銘柄)

| 資産の種類 | 組入比率 |
|---|--------|
| スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCの株式 (以下「ゴールド・マスターの株式」と表記) | 76.52% |
| 現金、受取債権及びその他の資産 | 23.48% |

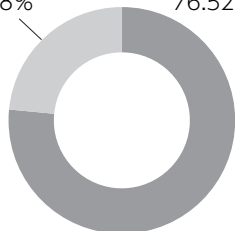
【費用の明細】 (2023年1月1日～2023年12月31日)

| 項目 | 項目の概要 | |
|------------|--|------------------------------------|
| 管理報酬 | 分別ポートフォリオB・クラスBジャパン(円)株式及びクラスBジャパン(米ドル)株式の純資産価額の年率2.00% | |
| 成功報酬 | 分別ポートフォリオB・クラスBジャパン(円)株式及びクラスBジャパン(米ドル)株式の純資産価額の増加額のうち毎月20% (但し、ハイウォーターマーク方式を適用) | |
| 販売会社報酬 | 販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8% | |
| 事務管理報酬 | 事務管理報酬 | 分別ポートフォリオBにつき年間5,700米ドル |
| | 年次財務諸表の作成 | スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCにつき年間1,500米ドル |
| | ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード | スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCにつき年間500米ドル |
| | ポータルサイトへのCRSデータのアップロード | スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCにつき年間500米ドル |
| その他の費用(当期) | 監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.24% | |

(注) 各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

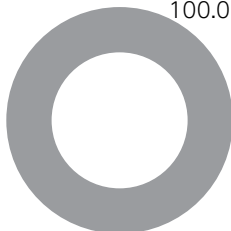
【資産別配分】

その他の資産 23.48% ゴールド・マスターの株式 76.52%



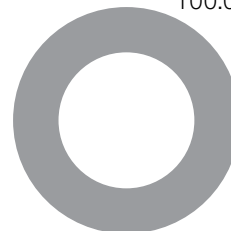
【国別配分】

ケイマン諸島 100.00%



【通貨別配分】

米ドル 100.00%



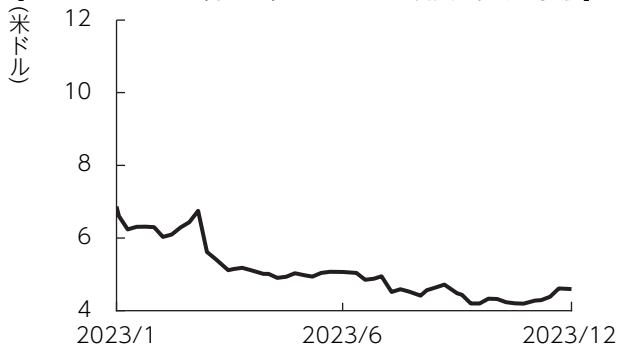
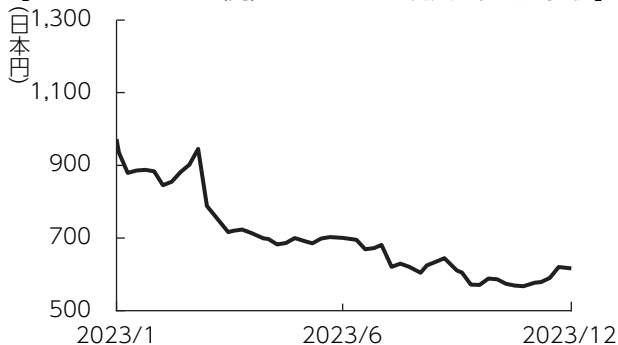
(注) 通貨別配分につき、通貨ヘッジはしていません。

(2023年12月31日現在)

スーパーファンド・グリーンSPC (マスターファンド) 分別ポートフォリオC

【クラスCジャパン (円) の1口当たり純資産価額の推移】

【クラスCジャパン (米ドル) の1口当たり純資産価額の推移】



【保有銘柄情報】 (組入銘柄数：1銘柄)

| 資産の種類 | 組入比率 |
|-----------------|--------|
| グリーン・マスターの株式 | 97.60% |
| 現金、受取債権及びその他の資産 | 2.40% |

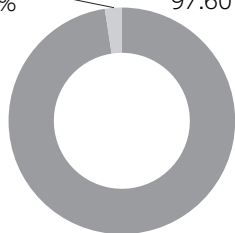
【費用の明細】 (2023年1月1日～2023年12月31日)

| 項目 | 項目の概要 |
|--------|--|
| 管理報酬 | 分別ポートフォリオC・クラスCジャパン (円) 及びクラスCジャパン (米ドル) 株式の純資産価額の年率2.00% |
| 成功報酬 | 分別ポートフォリオC・クラスCジャパン (円) 及びクラスCジャパン (米ドル) 株式の純資産価額の増加額のうち毎月20% (但し、ハイウォーターマーク方式を適用) |
| 販売会社報酬 | 販売会社が申込を取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8% |
| 事務管理報酬 | 事務管理報酬 分別ポートフォリオCにつき年間5,400米ドル |
| | 年次財務諸表の作成 スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間1,500米ドル |
| | ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間500米ドル |
| 事務管理報酬 | ポータルサイトへのCRSデータのアップロード スーパーファンド・グリーンSPCにつき年間500米ドル |
| | その他の費用(当期) 監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 1.03% |

(注) 各報酬については、当サブファンドの目録見書に定められている料率を記しています。「その他の費用 (当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

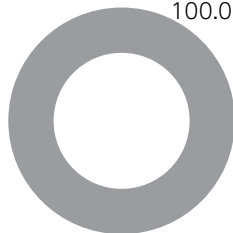
【資産別配分】

その他の資産 2.40%
グリーン・マスターの株式 97.60%



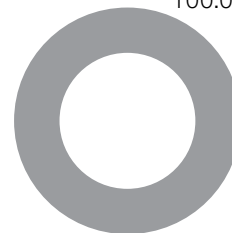
【国別配分】

ケイマン諸島 100.00%



【通貨別配分】

米ドル 100.00%



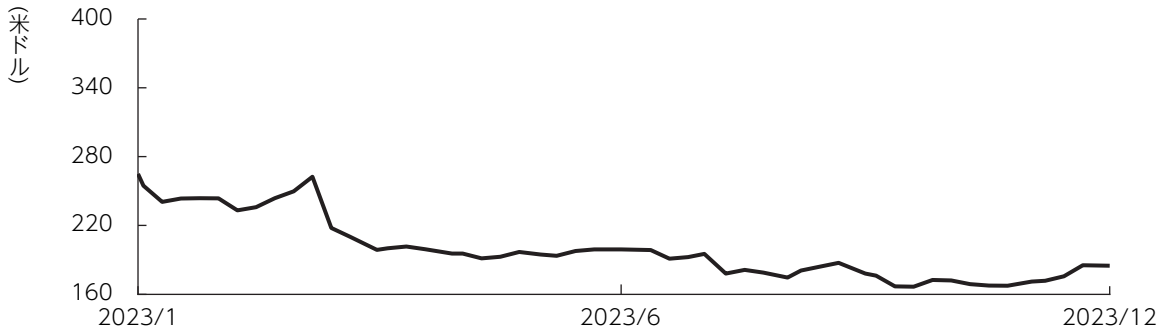
(注) 通貨別配分につき、通貨ヘッジはしておりません。

(2023年12月31日現在)

■ 投資先ファンドの概要 (2023年1月1日～2023年12月31日)

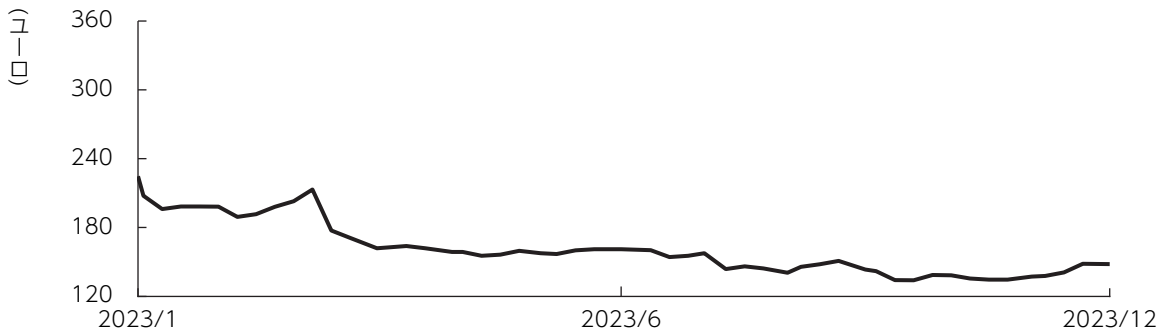
スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスB

【1口当たり純資産価額の推移】



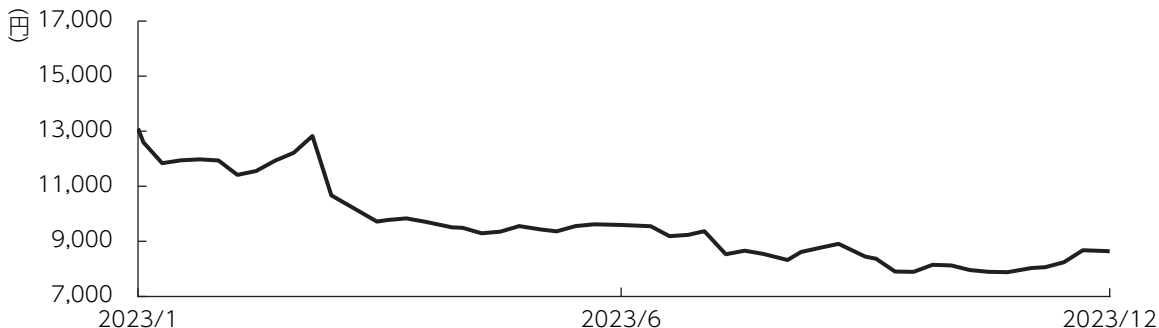
スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスC

【1口当たり純資産価額の推移】



スーパーファンド・グリーン・マスター (アンダーライング・マスターファンド) クラスE

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】

(2023年1月1日～2023年12月31日)

| 項目 | 項目の概要 | |
|------------|--------------------------|--|
| 事務管理報酬 | 事務管理報酬 | 純資産の4.2ベースポイント／年間0.042% (毎月4.2ベースポイントの12分の1) 但し、各ファンドにつき最低毎月1,500米ドル ファンドの純資産の50百万米ドルを超える部分：2.45ベースポイント ファンドの純資産の100百万米ドルを超える部分：0.7ベースポイント |
| | 年次財務諸表の作成 | スーパーファンド・グリーン・マスターにつき年間1,500米ドル |
| | ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード | スーパーファンド・グリーン・マスターにつき年間500米ドル |
| | ポータルサイトへのCRSデータのアップロード | スーパーファンド・グリーン・マスターにつき年間500米ドル |
| その他の費用(当期) | 信託事務の処理に要する諸費用 0.35% | |

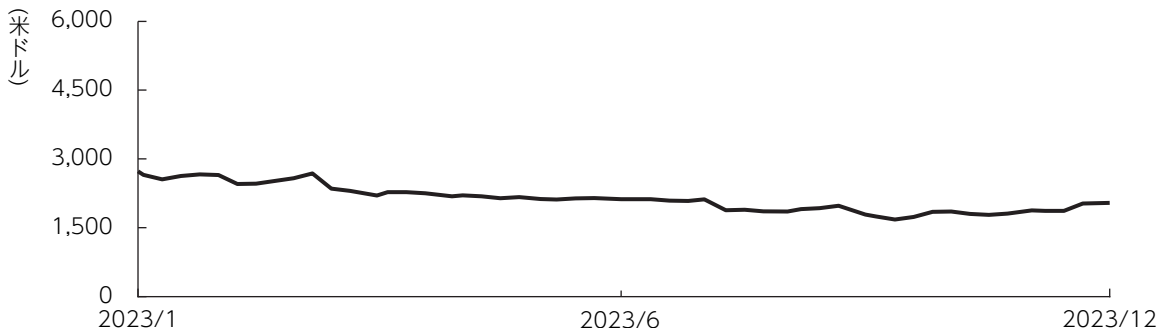
(注) 各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、**【資産別配分】**、**【国別配分】** 及び **【通貨別配分】** については、アンダーライニング・マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2023年12月31日現在)

スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC (アンダーライング・マスターファンド)

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】

(2023年1月1日～2023年12月31日)

| 項目 | 項目の概要 | |
|------------|--------------------------|--|
| 事務管理報酬 | 事務管理報酬 | 純資産の4.2ベースポイント/年間0.042% (毎月4.2ベースポイントの12分の1) 但し、各ファンドにつき最低毎月1,375米ドル ファンドの純資産の50万米ドルを超える部分：2.45ベースポイント ファンドの純資産の100万米ドルを超える部分：0.7ベースポイント |
| | 年次財務諸表の作成 | スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCにつき年間1,500米ドル |
| | ポータルサイトへのFATCAデータのアップロード | スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCにつき年間500米ドル |
| | ポータルサイトへのCRSデータのアップロード | スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCにつき年間500米ドル |
| その他の費用(当期) | 信託事務の処理に要する諸費用 0.30% | |

(注) 各報酬については、当サブファンドの目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、アンダーライング・マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2023年12月31日現在)